

専門高校生徒の研究文・作文コンクール入選作決定 「経済同友会賞」に研究文、作文それぞれ3編を顕彰

経済同友会は、公益財団法人産業教育振興中央会と共催で令和元年度「専門高校生徒の研究文・作文コンクール」を実施した。目指すべき社会像を幅広いステークホルダーと議論する「みんなで描くみんなの未来プロジェクト」の一環として行っており、今回で3年目となる。



尾崎汐音さん(右) 篠ヶ瀬晴海さん

作文の部受賞者の皆さん

■選考後評

研究文45編、作文244編の応募作品の中から、当会会員からなる審査委員会(橋本圭一郎委員長、経済同友会副代表幹事・専務理事)の審査を経て、経済同友会賞として研究文3編、作文3編を選出した。学生たちにとっては、毎年、経済同友会賞を受賞することが大きな励みとなっているとの報告を教育現場から受けている。

研究文の部では、経営者の視点から発想や論理性、将来性などを意識して審査を行った。応募作品からは自らの研究に取り組む様子がうかがえた。その中で、課題から成果まで論旨一貫したもの、研究にとどまらず産学連携まで見据えたもの、実際に商品を開発し販売にまで至ったものなど、PDCAや実証を意識した優れた作品を選出した。

作文の部では、テーマ性とともに関心を引き込む力や、今後の成長にワクワク感を感じるもの、そして文章構成力などを主眼に審査した。受賞作は体験を通じた作者の心の中の変化を感じるもの、地域や周囲の人々への貢献を通じた自己発見があったもの、豊かな感受性を巧みな文章で表現したものなどが選出された。

受賞作品の他にも、ユニークなテーマ設定や新たな視点を提供しようとする研究文、夢に向かって奮闘する姿が浮かび上がるような作文が多数あり、専門領域を持って真っ直ぐな気持ちで学ぶ様子に心を打たれた。審査を通じて、日本の未来をつくっていく若者の可能性を大いに感じることができた。

■専門高校生徒の研究文・作文コンクール「経済同友会賞」受賞作品

◆研究文の部◆

和牛×愛=∞ ～良質な牛肉生産で目指せ和牛甲子園！～	
岩手県立遠野緑峰高等学校【生産技術科3年】	佐々木 愛斗さん、菊池 佳純さん、太田 愛蘭さん、菊池 将太さん、菊池 浩之さん、金野 涉弥さん、瀬川 陸人さん、千田 杏奈さん、細野 直哉さん
ツバキでつなぐ気仙 ～廃材を利用した加工品開発～	
岩手県立大船渡東高等学校【農芸科学科3年】	花輪 美月さん、田村 倅汰朗さん、鈴木 沙耶加さん、長野 修也さん、吉田 裕さん
広げたい矢板の和!! ～「やいたの黒」をパンにしたい～	
栃木県立矢板高等学校【栄養食物科3年】	五十嵐 茜さん、磯 颯朋さん、井上 真央さん、岩出 葵衣さん、田代 遥奈さん、富川 友翔さん、長谷川 詞音さん

◆作文の部◆

留萌農業を救え！ ～チリコンカンソースの商品開発をとおして～	
北海道立北海道遠別農業高等学校【生産科学科3年】	酒井 春菜さん
私の農園 ～エンジョイスクールライフ～	
愛知県立稲沢高等学校【園芸科2年】	篠ヶ瀬 晴海さん
見えない世界	
愛知県立宝陵高等学校【衛生看護科3年】	尾崎 汐音さん